

年頭のご挨拶

令和8年という新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

昨年は弊社設立2年目をスタートし、多くの正会員様・賛助会員様にご入会頂きましたこと、改めて深く御礼申し上げます。

昨年末には会員企業一同が集っての懇親会を開催し、終始和やかな雰囲気のもとでお互いの情報を交換し、現状の課題や将来の目標などを共有できたことは、弊会の更なる団結、結束力を強められたと確信しております。

弊会は設立してまだ1年半を経たばかりですが、お陰様で都内専門学校の方々にはずいぶんご認識頂けたと感じていると共に、本年は大学・高校・地方の教育機関との繋がりやゼネコン様との意見交換など強化していきたいと考えております。

また生産設計技術者の知見・モチベーション向上に繋がる活動にも注力したいと考えており、賛助会員様ならびに各専門工事会社様との連携も強化し、研修会や見学会なども積極的に行ってまいります。

先を見れば、少なくとも2030年までは都内の超大型プロジェクトが目白押しで、予てより懸念されております技術者の枯渇問題は、いよいよ工期遅延や品質事故などといった由々しき事態に発展してくる可能性もございます。

それを食い止めるべく生産設計者の増員、知見・技術力向上は一朝一夕では成し得ませんが、今のこの地道な活動がいつぞや建築・建設業界における最も重要な職能の一つとして確立し、スポットライトが当たる日が来ることを願ってやみません。

そういった事を目標に今は一つ一つ階段を上っていく、2026年もそのような年にしていきたいと存じます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

建築生産設計協力会 会長 中村 務